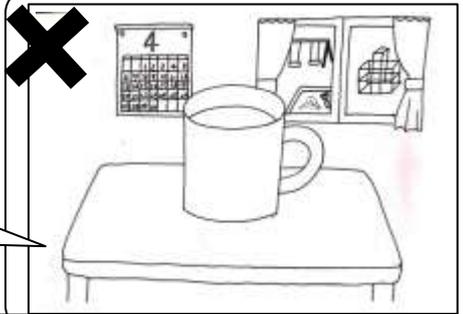
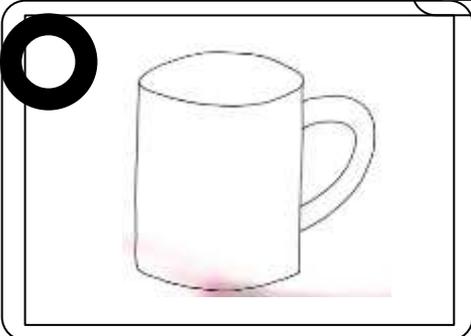
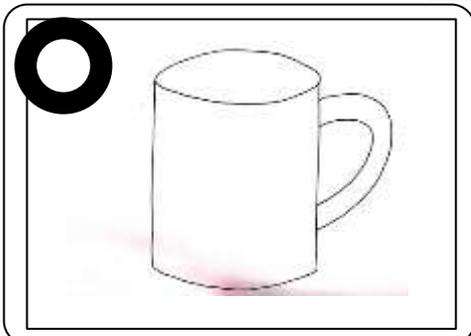


ステップ 1

| | |
|-----------------------------------|--|
| 大項目 | ④コミュニケーション手段の形成と活用 |
| 小項目 | 【2】コミュニケーションのための視覚的な支援 |
| タイトル (教材名) | 写真カード |
| 目的 身につけてほしい力 | 写真カードを用いて相手の話を理解したり、自分の要求を相手に伝えたりする。 |
| 教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像 | <p>写真をラミネートするときには、ラミネート用紙に5mm程度余白を持たせると剥がれづらい。</p> <p>カードの角でケガをすることがあるので、必ず丸く切っておく。</p> |
| 教材の使用方法 | <p>メリット：用意することが簡単。表したい物その物を表現できる。</p> <p>デメリット：背景などの不必要な情報が入るため、情報が焦点化しづらいことがある（物を写す時は、単色の紙の上で撮る）。視覚過敏の子どもには不向き（自閉的な傾向を示す子どもは、写真の中心を見ているとは限らない）。</p> |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-right: 10px; width: 300px;"> <p>背景にはできるだけ対象物以外のものが写らないようにする。 対象物がはっきりとわかるように、無地の紙や布を敷くと良い。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 250px; height: 150px; position: relative;"> ✖  </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; width: 250px; height: 150px; position: relative;"> ○  </div> |
| その他 | |

ステップ2

| | |
|-----------------------------------|---|
| 大項目 | ④コミュニケーション手段の形成と活用 |
| 小項目 | 【2】コミュニケーションのための視覚的な支援 |
| タイトル (教材名) | イラストカード |
| 目的 身につけてほしい力 | イラストカードを用いて相手の話を理解したり、自分の要求を相手に伝えたりする。 |
| 教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像 | <p>絵をラミネートするときには、ラミネート用紙に5mm程度余白を持たせると剥がれづらい。</p> <p>カードの角でケガをすることがあるので、必ず丸く切っておく。</p> |
| 教材の使用方法 | <p>メリット : シンプルに表現できる。不必要な情報が入らない。物の概念を表現することができる(1つのコップでもいろいろな種類のコップを表すことができる)。</p> <p>デメリット : 物と絵をマッチングさせる力が必要。適切なイラストを描いたり、インターネットで検索したりする必要がある。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  </div> </div> |
| その他 | 何枚かのカードをリングでまとめ、持ち歩けるようにしておくとう便利。 |

ステップ3

| | |
|-----------------------------------|---|
| 大項目 | ④コミュニケーション手段の形成と活用 |
| 小項目 | 【2】コミュニケーションのための視覚的な支援 |
| タイトル (教材名) | 文字カード |
| 目的 身につけてほしい力 | 文字カードを用いて相手の話を理解したり、自分の要求を相手に伝えたりする。 |
| 教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像 | 絵をラミネートするときには、ラミネート用紙に5mm程度余白を持たせると剥がれづらい。 カードの角でケガをすることがあるので、必ず丸く切っておく。 |
| 教材の使用方法 | <p>メリット：用意することが簡単。不必要な情報が入らない。カードがない場面でも、紙とペンがあればすぐに作ることができる。紙、ペン（太・細）、などをセットにして持ち歩いおくと便利。</p> <p>デメリット：文字を読む力が必要。</p> |
| | <div data-bbox="596 1402 1235 1563" data-label="Text"> <p>ぷうる</p> </div> |
| | <div data-bbox="197 1615 791 1832" data-label="Text"> <p>長音は基本的にカタカナに使用するもので、カタカナを学習する前は「ぷうる」と表記することがあるが、普段見慣れないので「ぷーる」、もしくは「プール」の方が認識しやすい。</p> </div> |
| | <div data-bbox="815 1626 1450 1827" data-label="Text"> <p>文字はひらがな→カタカナの順で習得することが一般的で、カタカナをまだ習得していない児童生徒もいる。しかし、普段カタカナで表記するものは、未習得でもカタカナで表記した方がわかりやすい場合もある。</p> </div> |
| その他 | |